

住居の確保が困難な人への支援に対する考えは

問 住居の確保が困難な人への支援として、募集をしても入居者が決まらない市営住宅を活用するべきであると考えますが、①活用の可能性は。②福祉部局と住宅部局の連携に対する考えは。

答 都市計画部長／①公営住宅法において、NPO法人等、生活困窮者一時生活支援事業等の事業者への提供については、事業主体である市が必要と認めた場合、国土交通大臣の承認を得た上で公営住宅の管理に著しい支障のない範囲内で、社会福祉事業等に使用させることができる。

このため、福祉部局等と緊密な連携を図り、生活困窮者一時支援事業の必要性や管理運営方法等の検討内容により判断していく。

福祉事務所長／②本市では、市及び県の住宅部局や居住支援団体を含む関係機関により構成される沼津市生活困窮者自立支援ネットワーク会議において、住宅確保要配慮者を含む生活困窮者への支援について情報交換を行っている。今後も引き続き、国や他の自治体の動向を注視しつつ、福祉部局と住宅部局が連携し、支援の在り方を検討していく。

平野 謙



投票所入場券未達問題に対する認識と再発防止策は

問 令和六年十月二十七日執行の衆議院議員総選挙において、投票所入場券が一部地域で未達となったことについて、①当該事案の重大性に対する認識は。②今後の再発防止策は。

答 選挙管理委員会委員長職務代理者／①選挙は民主主義の根幹をなすものであり、今回、市民の重要な権利行使の機会において、多大な迷惑をかけてしまったことを反省している。選挙管理委員会は、投票率向上のため、あらゆる機会を捉えて選挙啓発に取り組むことが求められている中、最大の選挙啓発とも言える投票所入場券を届けられなかったこと

については、選挙管理委員会の責務を果たすことができなかったと責任を感じている。②今後の投票所入場券の作成・発送作業においては、作成すべき通数、作成数、発送数の管理・監督をさらに厳格に行うとともに、複数の職員で作業工程や数字を互いにチェックできる体制とするほか、システム等の操作を誤ることのないよう細心の注意を払い、慎重に作業を行う。これらを徹底し、二度と同じミスを繰り返さないよう、事務を行っていく。

江本 浩二



用語解説



※1 沼津市芸術祭 (P.4)

市民による自主的な芸術・文化の振興、日頃の活動成果を披露する市民芸術の祭典として昭和49年度に開始され、これまでに51回開催されている。

令和6年度は、沼津の秋を彩るステージ、展示など、全18部門による芸術文化の発表が実施された。

※2 プロセスマネジメント (P.4)

結果に至るまでの業務プロセスを分析・管理し、成果の最大化を目指すマネジメント手法のこと。

プロセスを明確化することにより、各工程における問題点を迅速に特定し、目標達成に向けた改善が可能となる。

※3 HPVワクチン (P.5)

子宮頸がんの原因のうち50～70%を占める2種類(16型・18型)のヒトパピローマウイルス(HPV)の感染に対し予防効果のあるワクチンのこと。



※4 土のうステーション (P.6)

台風や突発的な大雨に備え、浸水被害から自宅を守るため、必要に応じて土のうを使用できるように設置された土のう置場のこと。

※5 スマート農業 (P.6)

ドローンやAIなどの情報通信技術等を活用した農業のこと。これにより、農作業の効率化、農作業における身体の負担の軽減、農業の経営管理の合理化による生産性の向上などの効果が期待される。